

今月はあったかくておいしいものの絵本です。

『せかいいちおいしいスープ』

マーシャ・ブラウン／文・絵 こみや ゆう／訳 岩波書店 2010年 1680円

<お勧め年齢>

乳幼児★★☆ 小低学年★★★ 小中学年★★☆ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆  
高校☆☆☆ 一般☆☆☆ (★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

おなかをすかせた三にんのへいたいたちが、たどりついた村でたべものをくれるようにたのみますが、村びとたちはたべものをかくしたままへいたいたちにはくれません。

そこでへいたいたちは石のスープをつくることにします。

石でスープをつくるって? どうやって?

村びとたちはなべのまわりにあつまってきました。

<子どもに手渡すときのポイント>

同じように石でスープをつくるおはなしの絵本には、中国が舞台となっている「しあわせの石のスープ」(ジョン・J・ミューズ/さく・え 三木 卓/やく フレーベル館) やオオカミがへいたいの役をしている「オオカミと石のスープ」(アナイス・ヴォージュラード/作・絵 平岡 敦/訳 徳間書店) などがあります。また、石ではなくくぎでスープをつくる「くぎスープ」というむかしばなしもあります。自分の好きなおはなしやその子どもにあったおはなしを選んでみてください。

また今回は 2010 年に岩波書店から出版されたものをご紹介しましたが、1979 年に同じ絵本を渡辺茂男氏が訳した本がペンギン社から出版されており、今回の本とは少し文章が違っているのでそちらもチェックしてみてください。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店にあります。ぜひ手に取ってみてください。